

三豊市立比地大小学校

(様式4-2:平成29年度 モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)にかかわる学校支援制度

実施結果報告書)

実施結果報告書

| | | | | | |
|--|------|---------|------|--------|-----|
| 1. 学習名称：交通（電車）とわたしたちの暮らし | | | | | |
| 2. テーマ：チャレンジ！ふるさと交通エコプラン | | | | | |
| 3. 実施教科：総合的な学習の時間・社会科 | | | | | |
| 4. 関連単元：3年：総合「ふるさとたんけんたい」 4年：総合「チャレンジ・エコ活動」 5年：社会「わたしたちの生活と工業生産」「環境を守るわたしたち」 総合「比地大のすばらしさをリサーチしよう」 6年：総合「安全・安心住みよい町・比地大」 | | | | | |
| 5. 実施単元数：3～6年：6単元 | | | | | |
| 6. 学年 | 3～6年 | 7. クラス数 | 4クラス | 8. 生徒数 | 38名 |
| 9. 実施内容 <p>本校では、21世紀の課題である環境問題に4年生の「総合的な学習の時間」（「チャレンジ・リサーチ！かがやけ！ふるさと比地大」）において、重点的に平成21年度から毎年取り組んで来た。ふるさと比地大の環境のリサーチにより「ふるさとのたから」を発見し、学習発表会等に全校生や地域に発信する活動である。これまでは、身近な交通環境をリサーチしたことがあるものの、学校単独の活動しかできなかった。しかし今年は、海外の環境先進国のように「電車」のよさを見直し、環境にやさしい乗り物として見直し、好きになり、進んで利用しようとする意欲を培いたいと考えた。そこで、3・4・5・6年生（65名）の総合的な学習の時間において、「JR四国の多度津工場」と提携した総合的な学習の時間の単元『チャレンジ！ふるさと交通エコプラン』を、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団の支援のもと、設定した。JR四国・多度津工場の見学を実施したり、出前授業において、電車の良さにふれたり、ふるさとのパノラマ立体模型にミニチュア電車を走らせたり、段ボール列車を製作したりして、電車に親しみ、環境を考えた交通手段の大切さを実感させたいと考えた。それらの体験と総合的な学習の時間・社会科をカリキュラム・マネジメントすることにより、交通環境を考えて主体的に行動できる児童の育成を図った。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> | | | | | |

10. 学習のながれ

① 「JR多度津工場の皆さん」との打ち合わせ（7月）

- ・ 趣旨の確認と内容の検討（学習計画の立案）

② 「JR多度津工場」の見学（7月）

- ・ 比地大駅 → JR比地大駅 → JR多度津駅 → 「JR多度津工場」見学
→ JR多度津駅 → JR比地大駅



③ 「JR多度津工場の皆さん」の出前授業（7月）

【6年生】

【4年生】

【3年生】



〈世界の鉄道とシルクロードについて考えよう。〉



〈地域のパノラマに電車を走らそう。段ボール列車を作ろう。〉



〈電車のしくみやれきし、電車のよさについて考えよう。〉

④ 各学年における総合的な学習・社会科学習の実践

- ・ 3年：総合「ふるさとたんけんたい」（6月～2月）
- ・ 4年：総合「チャレンジ・エコ活動」（4月～12月）
- ・ 5年：社会「わたしたちの生活と工業生産」「環境を守るわたしたち」（9月～3月）
総合「比地大のすばらしさをリサーチしよう」（6月～9月）
- ・ 6年：総合「安全・安心住みよい町・比地大」（5月～2月）

⑤ 「JR多度津工場の皆さん」との打ち合わせ（11月）

来年度に向けて（次年度計画の検討）